

【談話】

日米首脳会談

－米国とともに戦争する国づくり、大軍拡は許しません

2022年5月27日
新日本婦人の会会長
米山淳子

5月23日の日米首脳会談と共同声明で、岸田首相は「日本の防衛力を抜本的に強化し、防衛費の相当な増額を確保する」と表明、「敵基地攻撃能力」保有も約束しました。これは、軍事費増額などを盛り込んだ自民党の「安保提言」を対外的に誓約したものです。また、共同声明には沖縄の辺野古新基地建設や鹿児島県の馬毛島への空母艦載機着陸訓練施設建設が盛り込まれました。バイデン大統領が「台湾有事」での軍事関与に言及したように、中国を念頭に南西諸島・沖縄の戦場化をねらう米国の戦略を日本が担うということで、歴代政権の専守防衛すら放棄する、極めて重大な内容です。さらには、米国の「核の傘」の重要性を再確認したことは、核兵器の使用を前提にした抑止力に固執し、広島・長崎の惨禍が繰り返されることも辞さないということで、被爆国の首相として絶対に許されないものです。

北朝鮮による相次ぐミサイル発射は国連安保理決議にも違反する危険な行為で、許されません。今、メディアも一体に中国や北朝鮮の脅威をあおっていますが、日米首脳がめざすのは、「軍事対軍事」で東アジアの緊張をさらに高める戦争への道です。日本が攻められていないのに米国とともに戦争を起こしかねません。これこそが現実の脅威です。

軍事費増額は消費税増税や社会保障のさらなる削減など、国民生活を一層圧迫することになります。私たちは、平和も暮らしも壊す戦争する国づくり、大軍拡を許しません。7月の参議院選挙で、憲法を守り生かす議席を大きく増やし、必ず改憲を阻止しましょう。